



歴史の散歩道

大阪市史跡連絡遊歩道のしおり

中之島・鶴見コース



難波宮跡で出土した軒瓦
(大阪歴史博物館蔵)

大阪市建設局 道路部



泉布観

大阪市

大阪市史跡連絡遊歩道《歴史の散歩道》について

大阪市内には、先史時代から古代、中世、近世、近代に至る史跡がたくさんあります。

大阪市内では私たちの祖先や先輩たちが残してくれた貴重な文化遺産である史跡の顕彰につとめていますが、その効果を高める目的で、史跡連絡遊歩道「歴史の散歩道」の整備を進めています。このしおりは、「歴史の散歩道」を、できるだけ多くの皆様に利用していただくことを目的に作成したものです。これをご覧になって興味を持たれたら、ぜひ一度歩いてみてください。

自分と関わりのある土地の歴史や文化を知ることが、日々の生活に潤いと彩りを与えることになるでしょう。まず手始めに、お住まいや職場の近くから、またあなたの興味のある場所から歩いてみられてはいかがでしょうか。きっと新しい発見があることと思います。

歴史の散歩道は、右の図のように市内を5つの区域に分けてコースを設定しています。このしおりでは、中之島・鶴見コースを半日から1日程度で歩く8つのエリアに分け、それぞれの地図と史跡等の簡単な紹介文を掲載しています。番号順に歩くことをお勧めしますが、電車やバスを利用するなど自分にあったルートをお選びになるのもいいでしょう。

なお、史跡等の詳しい説明は下記ホームページに掲載していますのでご覧ください。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000008550.html>



【8】 城東区北部・旭区

63 榎並猿楽発祥の地・榎並城跡伝承地：猿楽は能楽の母体となった中世芸能で、社寺の祭礼などに奉仕をしていた。榎並猿楽もそうしたものの一つでこの辺りに座を持っていた。榎並城は、小城ながら淀川などの天然の外堀に囲まれた堅固な城で、南北朝時代からしばしば記録に現われる。
(城東区野江四丁目1、榎並小学校東門前)

64 関目神社 (城東区成育五丁目15)

65 森小路遺跡：昭和6年(1931)に発見された弥生時代の集落遺跡で、セタシジミを主とする貝類のほか、櫛目文の土器などが出土した。
(旭区新森四丁目22、新森中央公園内)

66 強頭断間跡碑：日本書紀によると、仁徳天皇11年に「茨田堤」を築くとき、どうしても崩れる場所が2ヶ所あった。そこで武蔵の人 強頭と茨田連衫子が生贖にされた。衫子は策を用いて難を逃れたが強頭は泣く泣く水に入り死んだという。工事は無事完成したが、後にこの2つの場所を強頭断間・衫子断間と呼ぶようになったという。
(旭区千林二丁目12-23、高木邸内)



65 森小路遺跡

